

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

事務事業評価シート					令和 2 年度事後評価・決算			令和 4 年 2 月 10 日時点					
					所管課		建設課		担当班		土木班		
事務事業名		コード	30000	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業		予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3	事業 種別	☒ 主な事業	
												☐ 国土強靱化地域計画	
施策 体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備			根拠法令	特になし					☐ 新市建設計画	
	施策の展開	34	主要道路の整備			戦略事業	158 飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業					☒ 定住自立圏構想	
	施策の展開					戦略事業						☒ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 21 年度～ 令和 6 年度まで	交流基盤を強化するため、飯岡三川地区と海上蛇園地区を連絡する新設道路を整備する事業である。 整備後は、東総広域農道から国道126号までを直結できるため、広域的な道路網が形成され地域間交流の活性化が期待できる。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
1市3町合併時に策定した新市建設計画の主要施策として事業化したものである。	事業費が一般的な道路整備に比べ大きいため、その財源確保が課題となっている。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
事業費が大きいことから、事業の必要性が問われている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (2年度の決算)			単位: 千円
1. 委託料	320,000	鉄道横断工事委託料 (R1線 70,000、R2 250,000)	
2. 工事請負費	44,310	道路改良工事 5件	
3. 用地費			
4. 補償費			
5. その他	3,493	土地等借上料 6件	
② 特定財源の内訳 (2年度の決算)			単位: 千円
1. 国庫支出金	111,595	社会資本整備総合交付金	
2. 都道府県支出金			
3. 地方債	240,000	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業債	
4. その他			

事業費	費目内訳	単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)
事業費	1. 委託料	千円	417	7,171	648	320,000	544,344
	2. 工事請負費	千円	6,670	2,484	12,759	44,310	115,071
	3. 用地費	千円	12,362		4,685		19,145
	4. 補償費	千円					1,421
	5. その他	千円			190	3,493	3,494
事業費計 (A)		千円	19,449	9,655	18,282	367,803	683,475
財源	1. 国庫支出金	千円		9,100	3,405	111,595	175,000
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円	18,200		13,900	240,000	479,700
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	1,249	555	977	16,208	28,775

前年度増減理由	鉄道横断工事の進捗による
---------	--------------

従事職員数	常時 2 人	最大 人	× 日 = 延べ 人
-------	--------	------	------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績 (2年度に行った主な活動) 鉄道横断工事 15.3% (工事費ベース)	ア 整備延長 (単年度)	m	0	0	140	1,069	300
		イ						

目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象 市民 意図 道路整備により地域間が結ばれ、地域間交流の活性化が図れる 対象 道路利用者 意図 道路整備により、安全且つ快適な移動と渋滞回避が望める	ア 道路整備延長	m	1,120	1,120	1,260	1,260	1,560
		イ 整備率	%	47.7	47.7	53.7	53.7	66.5

(4) 事務事業優先度評価の結果

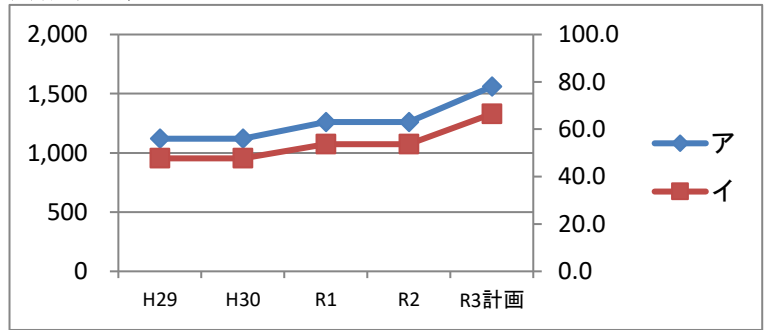
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通	③		
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 28年度 29年度 30年度 1年度 2年度	29年度 30年度 1年度 2年度 3計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					
	③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性		
		通年	未買収用地取得の推進 鉄道横断工事進捗率の目標28%超(金額ベース)を達成する	☐ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☒ 見直し ☐ その他 ()	令和6年度中に全線供用するため、未取得用地の取得に重点を置く。